

和光大学同窓会 2024 年度事業計画(案)

1. 会議

居住地域の制約なく、幅広い会員に参加してもらうために、幹事会・評議員会・総会等の会議、その他の講演企画にオンライン会議ツールを導入し、従来の対面方式と併用するハイブリット方式を推進、定着させます。

2. 大学との連携

本会設立から10年がたち、同窓生への活動支援方法や今の和光大学を内外にPRする方法等を模索し、大学と同窓会のメンバーでチームを作り、共に、未来の学生募集のための布石作りや和光大学の認知を広げるための方法を考えることを通して、大学と同窓会のより良い関係を構築していきます。

3. 会の財政

本会活動の財政基盤については10年経ても尚、安定がされない状況が続いています。

設立総会での決定を尊重し、大学へこの財政基盤に関する打開策の協力を依頼します。また、同窓会としても、会費納入方法等の模索や有料広告募集等、何らかの収益を得られる仕組み作りに取り組みます。

4. 五つの貢献事業の取り組み

A=卒業生：

(ア) 作品展「おかがみ」の体制を再編して再開します。

(イ) 地方支部の設立計画を立て、支部活動支援します。

山梨・沖縄支部の設立支援

北海道・九州支部の活動支援

全国ブロック分け

会報掲載者や学内ツアー・学内見学者に対して、地方支部立ち上げを積極的に呼びかけます。

(ウ) 同窓会役員の協力、会報送付時の工夫などにより、HP・会報での卒業生の様子の紹介を拡充します。

B=在校生：

(ア) 大学キャリア支援講座・教学支援室資格係へ協力します。

(イ) 2022年度に停止し、残金を一般会計に繰り入れた「学生支援募金」を有効に活用して、現役学生の支援になるような時宜に応じた事業を企画します。

C=地域： 同窓会企画（展覧会、公演・講演会等）を地域へ公開します。

D=社会： 卒業生の社会貢献活動の紹介に努めます。

5. 広報活動の充実

紙媒体世代とネット世代の両方へ発信します。

(ア) 会報第10号の発行 2023年11月

(イ) 大学発送物への同窓会文書の同封依頼

(ウ) 大学発行物、大学HPへの同窓会掲載依頼

(エ) 同窓会案内パンフレット改訂版の作成

(オ) HP、SNSで同窓会に寄せられた文章、催し物を掲載し、会員の活動を広く紹介します。

6. 同窓会役員の増員・強化

オンライン会議を充実させて、地方支部からも、役員を募ります。

負担にならないように会議の効率化を諮ります。